

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和7年3月12日(2025.3.12)

【公開番号】特開2024-128035(P2024-128035A)

【公開日】令和6年9月20日(2024.9.20)

【年通号数】公開公報(特許)2024-177

【出願番号】特願2024-108975(P2024-108975)

【国際特許分類】

C 08 J 9/14 (2006.01)

10

【F I】

C 08 J 9/14

C E S

【手続補正書】

【提出日】令和7年3月4日(2025.3.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

熱可塑性樹脂および/またはその架橋体からなる樹脂成分と、酸化ジルコニウムとを含む発泡体であって、前記熱可塑性樹脂がオレフィン系樹脂を含み、前記酸化ジルコニウムの割合が、前記樹脂成分100質量部に対して0.01~8質量部であり、前記樹脂成分中に前記酸化ジルコニウムが分散相として分散し、前記分散相の平均径が10μm以下であり、かつ発泡倍率が10倍以上である発泡体。

【請求項2】

前記分散相の平均径が100nm未満である請求項1記載の発泡体。

【請求項3】

30

前記樹脂成分がポリエチレン系樹脂である請求項1または2記載の発泡体。

【請求項4】

酸化ケイ素をさらに含む請求項1~3のいずれか一項に記載の発泡体。

【請求項5】

前記酸化ケイ素がシリカゲルである請求項4記載の発泡体。

【請求項6】

前記酸化ジルコニウムが、空隙の壁面および/またはスキン層付近に局在化している請求項1~5のいずれか一項に記載の発泡体。

【請求項7】

熱を放出可能な温感発泡体である請求項1~6のいずれか一項に記載の発泡体。

40

【請求項8】

原料樹脂成分および酸化ジルコニウムを含む発泡性樹脂組成物を発泡成形する請求項1~7のいずれか一項に記載の発泡体の製造方法。

【請求項9】

前記発泡性樹脂組成物が、マトリックスとしての前記原料樹脂成分中に前記酸化ジルコニウムが分散した分散相を有し、かつ前記分散相の平均径が100nm以下である請求項8記載の製造方法。

【請求項10】

前記発泡性樹脂組成物が、マトリックスとしての第1の原料樹脂成分中に酸化ジルコニウムが分散相として分子または原子単位で分散したマスター・バッチと、第2の原料樹脂成

50

分との組み合わせである請求項9記載の製造方法。

10

20

30

40

50